

(株) 東洋設計事務所
佐藤 花奈

－ 水に携わる仕事に就いて －

○プロローグ

私の生まれ育った街は、宮城県岩沼市です。私は昨年4月に入社したばかりの新人で、この水コンという世界に船出したばかりですが、会社目標の“何事にもチャレンジすること”というテーマを実践すべく、今回及ばずながら投稿させていただきます。さて私が、この水の仕事に就くことになったきっかけは、災害を身近で体験したときのライフラインの有難さを痛感し、何か地域に役に立ちたいと思ったからです。

大学では機械知能工学を専攻していたため、思ってもみなかった分野の仕事に就いてはいますが、昨年度には地元の水道設計業務に携わることができ大変うれしく思いました。今は先輩方と毎日一緒に仕事をしながら、いろいろな知識、技術を身に付けていきたいと思っております。

○パワースポット岩沼

岩沼市は、阿武隈山地の北端に位置しています。竹駒神社は蔵王山から見下ろせる位置にあり、この街に竹駒神社が鎮座しているのは、海と陸の交通の要所で人の流れがあり、パワーを受けやすいためでもあるとも言われています。

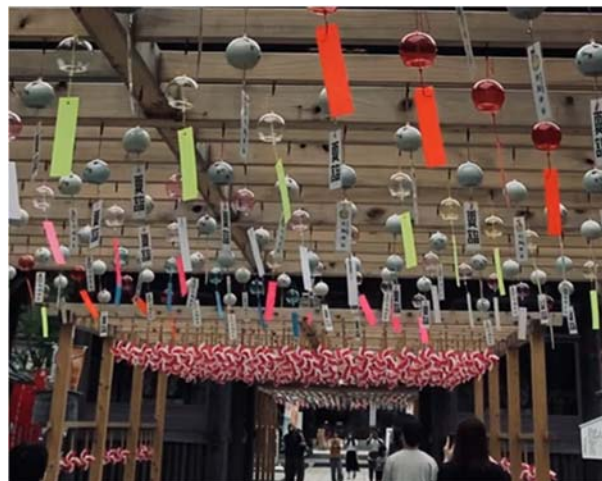
創建 1150 年を超える日本三稲荷の一つともされる竹駒神社は、古来より、人間生活の根元である『衣・食・住』の守護神として、五穀豊穰、商売繁昌、海上安全、産業開発などの様々な信仰を集めており、東北屈指の福神様（パワースポット）として崇められています。今から何百年前からか、奥州藤原家や仙台の代々の伊達のお殿様の手厚い庇護もあったためか、鳥居が3つあり、鳳凰が刻まれた拝殿は大変堂々としています。境内に入ると、願い事が何でも叶いそうな気配を感じさせてくれます。

神社の祭事には、年初めの歳旦祭に始まり、どんと祭、2月の祈年祭、3月の初午大祭、11月の新嘗祭など年間40回を数え、1年を通して賑わいがあります。また、花手水、たけこま朝市、きつねおみくじ、きつね絵馬等、参拝時に見て頂きたいスポットです。夏場には風鈴や風車で飾り付けられた境内はフォトスポットとしても話題になりま

した。中でも朝市は、地元商店街の他に県外からの出店もあり、盛り上がりを見せています。残念ながら10月23日が今年最後の開催となりましたが、次に開催されるときは是非立ち寄ってみてください。



竹駒神社拝殿



境内を飾る風鈴や風車



きつね絵馬



花手水舎

○水へのいざない

今、世界では水不足が頻発しており、2025年までに、世界人口の3分の1の人々が水不足の地域に住むだろうと予測されています。地下水の低下、深刻な汚染、湖沼や水資源の消失といった世界的な水危機が存在し、70もの河川が過剰利用のために断流し、これ以上取水することができなくなり、約10億の人々が恒常的に飲料水にアクセスすることができず25億の人々が衛生施設なしに暮らしているという問題があります。

一方、日本では、私が生まれ育った街も含め、日頃当たり前のように水道水が使用され、断水することなくおいしい水が蛇口を捻れば出てきます。衛生的な水にアクセス出来ずにいる国の人に比べれば、日本の水事情は大変恵まれているのかもしれない。

しかし、私の小さな体験ではありますが、台風水害により街の中が浸水し、断水が発生した際、ライフラインがいつでも安全で安定していることの有難さを痛感し、水道は日頃どんなふう運営されているのだろうかに興味を持ちました。日本の水道は世界の中ではかなり優れていると聞きますが、まだ私には、その優れているという点を認識できるレベルではありません。

今後人口減少が進む中、如何に老朽施設を更新し、当たり前のように維持していくかが問われています。身近な地域水道や世界の水道を読み取るにはまだまだ知識が必要ですが、今は、いつかはその地域事情に合わせた水道施設の設計ができるようになりたいと思っています。

水道技術者として、今は、先輩の足を引っ張らないように、正確な仕事をして、信頼してもらえるようになることが大事であると思っています。いつか水道全般が理解できるようになれば、リスクを如何に低減させ、どこにでも造れる水道施設を生み出すことができるかもしれません。そのためには、日頃の研鑽とチャレンジの積み重ねを心がけていきたいと思っています。